

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東  
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 雅信  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部次長 (氏名) 蜂須賀 伸子 (TEL) 06-6120-2001  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,696	10.0	93	△56.4	107	△63.1	73	△68.3
2022年3月期第2四半期	4,269	18.9	213	282.8	290	181.8	233	206.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第2四半期	13.36		—					
2022年3月期第2四半期	37.86		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,348	2,742	51.3
2022年3月期	5,005	2,802	56.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,742百万円 2022年3月期 2,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	△5.3	210	△35.5	270	△36.6	180	△41.9	32.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期2Q	6,228,039株	2022年3月期	6,228,039株
2023年3月期2Q	694,677株	2022年3月期	694,438株
2023年3月期2Q	5,533,500株	2022年3月期2Q	6,160,901株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における世界経済は、ロシアのウクライナ侵攻の出口の見えない長期化や中国各都市の重なるロックダウンの繰り返しにより、原材料・部品調達においてインフレ圧力が引き続き、また欧米諸国の金利政策により為替が大幅に変動し、世界経済活動が見えなくなっております。

我が国内におきましても新型コロナウイルス感染症による厳しい活動制限が緩和され正常化に向かうなか、最近の急速な円安ドル高による消費者物価高騰にともなう消費活動の停滞が物流活動の低迷につながるリスクになっております。

また、海上コンテナ不足に加え、燃料費の高騰や労働力不足が海運市況の混乱を助長する結果となり、不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社ではお客様の理解のもと、各国の協力代理店及び船会社と緊密な連携を取り合っコンテナ配送手配、荷役作業等を行い、また事務処理の効率化等経費の削減に努めましたが、輸送コストの高止まりにより収益水準を押し下げました。

当第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における当社の業績につきましては、新型コロナウイルスの影響もありましたが、営業収入は増加しました。しかしながら、営業利益については燃料費等諸コストの高騰により、また、経常利益については為替相場の変動の影響で為替差損が発生し、前年同四半期比で減少しました。

この結果、当第2四半期累計期間における営業収入は4,696,385千円で、前年同四半期累計期間と比べ426,983千円(10.0%)の増収となりました。営業利益は93,043千円で、前年同四半期累計期間と比べ120,597千円(56.4%)の減益、経常利益は107,374千円で、前年同四半期累計期間と比べ183,301千円(63.1%)の減益となりました。また、四半期純利益は73,912千円となり、前年同四半期累計期間と比べ159,331千円(68.3%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、今般新たな航路の取り扱いを始めたことにより既存および新規の取引が増加し、営業収入は前年同四半期比については増収となりました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は4,560,804千円で、前年同四半期累計期間と比べ416,598千円(10.1%)の増収となり、全セグメントの97.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は307,786千円で、前年同四半期累計期間と比べ45,824千円(13.0%)の減益となりました。

#### ②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、燃料費等諸コストの高騰によりセグメント利益については取引採算悪化傾向となりました。

営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は133,162千円で、前年同四半期累計期間と比べ10,330千円(8.4%)の増収となり、全セグメントの2.8%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は10,427千円で、前年同四半期累計期間と比べ3,468千円(25.0%)の減益となりました。

#### ③その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期とほぼ同水準となりました。

この結果、営業収入は2,418千円で、前年同四半期累計期間と比べ53千円(2.3%)の増収となり、全セグメントの0.1%を占めております。セグメント利益(営業利益)は2,403千円で、前年同四半期累計期間と比べ66千円(2.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より440,840千円増加して3,334,838千円となりました。これは現金及び預金の増加138,650千円、営業未収入金の増加81,938千円、立替金の増加207,738千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より97,453千円減少して2,013,951千円となりました。これは投資有価証券の減少54,815千円、貸倒引当金の増加35,375千円等によるものであります。

流動負債は、前事業年度末より143,201千円増加して1,511,798千円となりました。これは支払手形の減少38,267千円、営業未払金の増加203,569千円、1年内返済予定の長期借入金の増加81,927千円、未払法人税等の減少101,301千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より260,347千円増加して1,094,842千円となりました。これは長期借入金の増加259,008千円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末より60,162千円減少して2,742,150千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加13,042千円、その他有価証券評価差額金の減少78,654千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、2022年5月12日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想は、現時点においては変更はありません。

今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,393,816	1,532,466
受取手形	1,393	3,607
営業未収入金	786,926	868,864
立替金	666,698	874,436
その他	47,915	66,373
貸倒引当金	△2,753	△10,910
流動資産合計	2,893,997	3,334,838
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	92,923	88,873
構築物(純額)	2,116	1,979
機械及び装置(純額)	48,998	44,133
車両運搬具(純額)	38,706	33,676
工具、器具及び備品(純額)	5,831	5,120
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	12,000	11,047
有形固定資産合計	776,759	761,013
無形固定資産		
のれん	139,655	125,689
その他	19,615	11,913
無形固定資産合計	159,270	137,603
投資その他の資産		
投資有価証券	964,890	910,074
繰延税金資産	26,713	30,222
差入保証金	79,172	78,919
その他	321,038	347,933
貸倒引当金	△216,439	△251,815
投資その他の資産合計	1,175,375	1,115,335
固定資産合計	2,111,405	2,013,951
資産合計	5,005,403	5,348,790

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	38,267	—
営業未払金	633,582	837,151
1年内返済予定の長期借入金	343,387	425,314
未払金	35,597	45,431
未払法人税等	166,435	65,133
賞与引当金	51,626	51,920
その他	99,700	86,848
流動負債合計	1,368,596	1,511,798
固定負債		
長期借入金	591,130	850,138
退職給付引当金	227,910	229,869
その他	15,454	14,835
固定負債合計	834,494	1,094,842
負債合計	2,203,090	2,606,640
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	18,025	23,558
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	641,602	654,645
利益剰余金合計	659,628	678,204
自己株式	△312,153	△312,236
株主資本合計	2,794,347	2,812,839
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,965	△70,689
評価・換算差額等合計	7,965	△70,689
純資産合計	2,802,312	2,742,150
負債純資産合計	5,005,403	5,348,790

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業収入	4,269,402	4,696,385
営業原価	3,885,596	4,361,806
営業総利益	383,806	334,579
販売費及び一般管理費	170,165	241,535
営業利益	213,640	93,043
営業外収益		
受取利息	17	3
受取配当金	18,711	30,845
受取家賃	13,200	13,200
受取手数料	3,696	—
雇用調整助成金	9,946	2,142
受取補償金	24,229	—
雑収入	18,696	13,366
営業外収益合計	88,498	59,557
営業外費用		
支払利息	3,430	3,837
支払手数料	2,218	—
為替差損	—	35,670
賃貸費用	5,815	5,718
雑損失	0	—
営業外費用合計	11,464	45,226
経常利益	290,675	107,374
特別利益		
固定資産売却益	1,563	1,254
投資有価証券売却益	49,393	20,767
特別利益合計	50,957	22,022
特別損失		
投資有価証券評価損	363	—
特別損失合計	363	—
税引前四半期純利益	341,269	129,396
法人税、住民税及び事業税	108,025	55,484
法人税等合計	108,025	55,484
四半期純利益	233,243	73,912

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。